



令和 7 年 度

運 営 に 関 す る 計 画

(中 間 評 価)

【学校教育目標】 めざす子ども像

よく考える子

自他ともに生きる子

たくましい子

大阪市立 泉 尾 東 小 学 校

令和 7 年 11 月

(様式2)

大阪市立泉尾東小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ・ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、84.8%以上にする。 ・ 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、73.1%以上にする。	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 不登校・問題行動の未然防止や改善のため、気になる児童の共通理解や、スクールライフノートの相談機能の活用等の取組を進める。また、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等の専門家や関係諸機関との更なる連携を図る。	B
指標 ・ 全教職員で児童理解を進めるため、生活指導連絡会を年間8回以上実施する。 ・ SCによる研修会を1回以上実施する。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 「いじめ（いのち）について考える日」や「いじめアンケート」の実施により、いじめの未然防止、早期発見・解消に努める。	B
指標 ・ 「いじめ（いのち）について考える日」を年1回以上、いじめアンケートを年3回実施する。 ・ 各学級で年3回以上、いじめや差別を許さない学習を実施する。 ・ あいさつや言葉遣いにかかわる生活目標を年6回以上設定する。	
取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】 たてわり班活動をはじめとした異学年交流や、地域との交流の取組を通じて、自己肯定感・自己有用感の向上に努める。	B
指標 ・ 児童集会を可能な限り月2回以上集合して行い、異学年の交流を深める。 ・ 地域や外部団体と連携した体験的な学習を、すべての学年で年2回以上実施する。	
取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容① ・ 生活指導連絡会を職員会議の後に実施しており、児童理解を進めている。 ・ SSWによる研修を1回実施した。SCによる全体研修は未実施である。 スクールライフノートの相談機能の活用は限定的であり、前期は3件であった。相談の申告がないか毎日確認しており、3件とも対応済みである。	

取組内容②

- ・「いじめ（いのち）について考える日」を5月12日に実施した。いじめアンケートを計画通り実施した。1学期の認知件数は35件であり、全件聞き取りを終えている。
- ・道徳や学級活動において、いじめや差別を許さない学習を各学級で行っている。
- ・あいさつや言葉遣いにかかわる生活目標を設定し、翌月の児童朝会で振り返りを行っている。10月にあいさつ週間を設け、「あいさつの木」に取り組んでいる。

取組内容③

- ・児童集会を月2回以上実施しているが、今年度はいずひがカーニバルを後期に予定しているため、交流の深まりには至っていない。
- ・防災DAYや交通安全指導等、地域や外部団体と連携した体験的な学習を、すべての学年で実施している。

後期への改善点

取組内容①

- ・生活指導連絡会での気になる児童の共通理解を継続し、不登校・問題行動の未然防止や改善に取り組む。保護者や関係機関と連携して、不登校児童一人ひとりに応じた居場所づくりに取り組む。
- ・SCによるカウンセリングマインドを高める研修会を実施する。
スクールライフノートの相談機能について、活用方法を改めて指導する。

取組内容②

- ・冷やかしからかいといった、いじめの芽となる言動について、全職員で見過ごすことなく指導していく。
- ・いじめやいのちについての学習を継続して行う。また学習がより児童の心に残るよう、ポスターや標語の掲示などの工夫を取り入れていく。

取組内容③

- ・いずひがカーニバルに向け、班ごとに集まる場を設け、顔や名前を覚えていっそう交流を深められるようにする。
- ・地域や外部団体と連携した体験的な学習を、引き続き実施する。

大阪市立泉尾東小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を31.4%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を68.1%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 学力向上支援事業を活用した国語科の授業研究、始業前の反復学習、放課後学習支援、漢字検定（3年生以上で実施）に向けた取組等を通して、学習習慣を身につけ、基礎的基本的な学習内容の定着を図る。		B
指標 ・「朝学習」を週2回、放課後学習支援を週2回実施する。 ・漢字検定に向け計画的に学習を進め、受検学年で1回以上過去問題に取り組む。 ・管理職を除く全教員が年1回以上の研究授業を実施し、授業後の交流を図る。		
取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】 「みんな遊び」等、業間に運動場へ出て遊ぶ機会の設定や、持久走の取組等を通して、健やかな体の育成に努める。		B
指標 ・20分休みに、「みんな遊び」を各学級で月1回以上実施する。 ・けがの防止のため、体育科の授業前に、柔軟性を高める運動を必ず実施する。		
取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】 規則正しい生活習慣を身につけ健康な学校生活を送ることができるよう、健康教育や食育の推進に取り組む。コロナ禍の収束とともに手洗いの意識が薄れることのないよう、継続的な取組を行う。		B
指標 ・「健康な生活調べ週間」を学期に1回実施する。 ・「食に関する指導」を年2回以上実施する。		
取組の進捗状況の結果と分析		
取組内容① ・「朝学習」を週2回、放課後学習支援を週2回実施している。 ・漢字検定に向け計画的に学習を進めている。 ・研究授業の実施と討議会での交流を、予定通り実施している。		

取組内容②

- ・20分休みに、「みんな遊び」を各学級で月1回以上実施している。
- ・けがの防止のため、体育科の授業前に、柔軟性を高める運動を必ず実施している。

取組内容③

- ・「健康な生活調べ週間」を計画通り実施し、規則正しい生活習慣の定着に取り組んでいる。
- ・「食に関する指導」を計画通り実施し、食育の推進に取り組んでいる。

後期への改善点

取組内容①

- ・朝学習、放課後学習支援の取組を継続し、学習習慣や基礎的・基本的な学習内容の定着を図っていく。
- ・漢字検定に向け、引き続き計画的に学習を進める。
- ・研究授業の実施と討議会での交流を、予定通り実施する。

取組内容②

- ・「みんな遊び」や柔軟性を高める運動を継続するとともに、「みんな」での遊びになじまない児童もいるため、冬季に向けての持久走など、体育科の授業内で健やかな体を育成する取組を工夫していく。

取組内容③

- ・「健康な生活調べ週間」の取組を継続するとともに、規則正しい生活習慣が身についていない児童について、家庭と連携し改善を図っていく。
- ・「食に関する指導」の取組を継続し、食についての関心を高めていく。

大阪市立泉尾東小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組まず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。（学校行事等ICT活用が適さない日数を除く）R6:0.7% ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を70%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 児童の心の状態や日々の生活の状況を可視化し、いじめ・不登校などの未然防止および迅速な対応を図るため、スクールライフノートの活用を推進する。また、デジタルドリル等の効果的な活用により、個別最適な学びを推進する。	C
指標 ・一日1回「心の天気」を入力する。 ・端末の活用率に反映される「学びのポータル」を開く活動を多く取り入れる。 ・学習者用端末の効果的な活用についての研修を、年1回以上実施する。	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 低・中・高学年のチーム体制を構築し、教職員が生き生きと働くことのできる環境を整備する。時間外勤務時間の減少はもとより、「ゆとり」を実感できる実効性のある働き方改革を進める。	C
指標 ・ゆとりの日を週1回以上設定する。 ・学校閉庁日を、長期休業期間中において年間5日以上設定する。	

取組の進捗状況の結果と分析
取組内容① ・「心の天気」は100%ではないものの、放送での呼びかけや学級掲示などにより、入力率は伸びてきている。日々入力状況を確認し声をかけているが負担もある。 ・「学びのポータル」を多く活用するようにしている。9月までの端末活用達成率は、3.9%であった。特に端末が更新されてからは、活用率が伸びている。 ・学習者用端末の機種更新に合わせ、ICT支援員によるChromebook活用に関する研修会を10月9日に行った。
取組内容② ・ゆとりの日を週1回以上設定しているが、ゆとりの日に早く退勤できなかったり仕事を持ち帰ったりしていることもある。 ・学校閉庁日を、夏季休業期間中において4日間設定した。

9月までの1か月あたりの平均時間外勤務時間は昨年度より4時間減少し、小学校の平均を下回っているが、ゆとりの実感には至っていない。

後期への改善点

取組内容①

- ・「心の天気」の入力を習慣化し、心の状態を可視化することで、いじめ・不登校などの未然防止および迅速な対応につなげる。
- ・ICT支援員による支援を有効活用しながら、スクールライフノートやデジタルドリル等の利活用を進めていく。

取組内容②

- ・ゆとりの日を引き続き設定する。
 - ・学校閉庁日を、冬季休業期間中においても設定する。
- 低・中・高学年のチーム体制の良さを堅持しつつ、状況に応じてフレキシブルに連携し、しなやかな組織づくりをすすめていく。